

【寺山修司記念館ボランティアの様子】





## 【寺山修司記念館ボランティア感想】

### 3年男子(定時)

今回ボランティアには、子供達が安全に楽しく遊べる遊具を作りたいという目的で参加した。ボランティアを経験して、子供と同じ目線で遊び、積極的に子どもと向き合うことを学ぶことが出来た。自分自身もこの経験から心の成長ができたと感じる。

これからも様々なボランティアに挑戦していきたいと思う。

### 3年女子(定時)

ボランティアでは、人との交流を目的に参加しました。

子どもとどのように接するか、逆に大人とはどのように接するかを意識しながら取り組みました。今回は昨年に比べ日程の関係もあり、子どもとの交流はあまり多くありませんでしたが、今まで経験したことのないイベントの「土台作り」に関わることが出来ました。

「土台作り」では、竹で子ども達の遊ぶトンネルを作ることを任されました。

すごくシンプルだけど、とても大変でこの作業から「地味な仕事にこそ大変さが有り、またとても大切なのだ」ということを学びました。

楽しい場所、楽しいことには、沢山の人の汗や苦勞が隠れていることを改めて実感しました。これからは学校生活の中で「土台」の部分を大切に組み込んでいきたいと思っています。

### 3年女子(定時)

昨年に引き続き、今年で2回目の参加です。昨年とはまた違った経験が出来ました。

今回私がボランティアに参加したのは沢山の子ども達と触れ合い、接し方などを学びたいと思ったからです。

今年は、昨年やらなかった木の板などを使って作品(遊具)を作るということを初めてしました。子ども達の安全を考え、沢山の悩んで話し合った結果、なかなか良い物が出来たと思います。

将来私は保育士になりたいと思っています、ですので、これからも様々なボランティアに参加し、ボランティアから社会性や人との関わりについて学びたいと思っています。